

絵本作りで伝えるSDGs

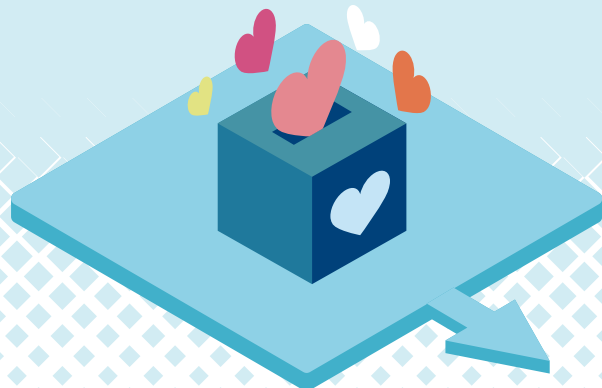
4つのTOPICの「問い」を自分なりに受け止め、それを絵本という作品にすることにより、生徒それぞれがジブンゴト化し、次のアクションの行動者へと変容することを目標とする

アプローチ

TOPIC 1

どうして募金って必要なの？

募金が必要な世界の現状をSDGsとのつながりの中で考えます。



TOPIC 2

公平な経済活動とは？

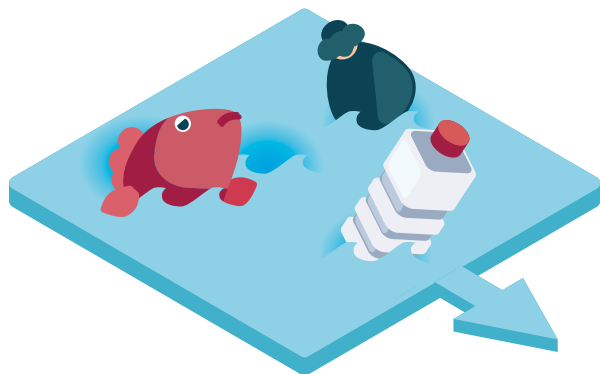
生産者・企業・消費者の視点で2030年の世界をよりよくする経済活動を考えます。



TOPIC 3

海洋プラスチックごみって何が問題なの？

海洋プラスチックごみ問題を解決するために、自分たちに何ができるかを考えます。



TOPIC 4

私たちにできる平和のための国際協力とは？

「戦争」がSDGsに与える影響について考えます。



TOPIC 5

あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を作りますか？

TOPIC1～4で学んだことを踏まえて絵本作りをします。
「誰に」「何を」伝えたいかをハッキリさせ、表現力を養い、
行動者への変容を促します。



3班 作成者の言葉



大塚 圭 中央大学杉並高等学校

SDGs は多岐に渡るテーマが設定されているため、「持続可能な社会の創り手」の育成を実現するにふさわしい探究課題です。是非、本教材が探究活動におけるはじめの一歩を踏み出す一助になれば幸いです。

水野 修 和洋九段女子中学校高等学校

この教材は様々な企業・団体・自治体・学校などの力をお借りして作成しました。授業で使って頂くとともに、「つながり」を作るヒントになれば幸いです。是非、生徒の皆さんと対話を楽しみながら進めてください。



本木 淳也 印西市立原山小学校

「当たり前」と思っていることに対し、「なぜ？」と問い続けることで今まで見えなかった世界の一面が見えてきます。子どもたちとともにこれからの「ありうる世界」、「ありたい世界」を考えてみませんか。

吉田 大祐 埼玉県立鳩ヶ谷高等学校

日々の仕事に追われ、総合学習や HR 活動等の準備になかなか手が回らない先生方の一助になればと思います。校種や教科の枠を超えて、話し合いながら作成しました。ぜひ各先生方の教育活動に合わせて、修正、活用してください。



中田 恵理子 東京都立向丘高等学校

一人で考え行動すること、みんなで考え行動することを繰り返して、探究のスパイラルをぐんぐん回して下さい。この教材が、豊かな探究の学びを実現するきっかけになると幸いです。

指導案全体の概要説明（作成した思い）

絵本作りを通じた SDGs ジブンゴト化 ～4つの「問い」を通して～

本指導案は、外部機関のリソースを活用して、SDGs（持続可能な開発目標）をジブンゴト化することを目的としています。SDGsを活かした探究活動は、児童・生徒に持続可能な社会を多様なレンズで読み解く機会を提供します。一方、SDGsのような普遍的価値を共有する正解のない問いを模索していく過程を学校のリソースだけで対応することは難しいのが現状です。そのため、本指導案では、外部機関の協力を得て、「4つの問い」を設定し、個々のSDGsを理解するとともに、SDGsを探究の見方・考え方のツールとして活用できるように「絵本プロジェクト～地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を創りますか～」を制作しました。

【協力企業・団体】

- ・ 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
- ・ イオン株式会社
- ・ ピープルツリー（フェアトレードカンパニー株式会社）
- ・ 東京農工大学
- ・ 千代田区立日比谷図書館
- ・ 八王子市役所
- ・ 国際日本文化学園
- ・ 特定非営利活動法人あおぞら
- ・ 特定非営利活動法人 SALASUSU



【指導案の使い方】

なお、この指導案は「4つの問い」から先生方の時間に合わせて各問いを組み合わせを使って頂いて構いません。また、最後の「絵本作り」も「紙芝居」「四コマ漫画」と準備をしてありますので、好きな方法で生徒のアウトプットにご利用ください。

ジブンゴト化とはどういうことか

- 「共感」し、「行動」に移すことができるということ
- 身近な課題に関心を持ち、主体的に解決できる姿勢を身につけていること
- 遠い国の出来事を自分の身に置き換えて考え、課題解決に向けて行動すること
- 新しい視点で物事を考え、多様な価値観を尊重・受容できること
- 「自分だったらどうする？」という問いに対する答えを考え、表現し合う場があること
- ある特定の条件に対して、「自分だったら○○」が言えること
- 自分にもできることがあるという見通しがもてること
- 実際に出会ったことのない「だれか」の思いを受け入れようとする事
- 自分も世界をよりよく変える力となるんだという思いをもつこと

今後の発展的展望

- 企業や団体・各教育機関・各自治体などといかにつながるかの目安となること
- 各教科・科目で落とし込んでもらい、新しい指導案としてアレンジしてもらうこと
- 現在の指導案の定期的な見直しとバージョンアップ
- この指導案を基にして、生徒が自分なりに課題を設定し、情報収集・分析・発表していく探究学習のサイクルをさらに深めていく

学びの構成

最上位目標

4つの TOPIC の「問い」を自分なりに受け止め、それを絵本という作品にすることにより、生徒それぞれがジブンゴト化し、次のアクションの行動者へと変容することを目標とする。

学びの流れ

TOPIC 1：どうして募金って必要なの？

募金が必要な世界の現状を SDGs とのつながりの中で考えます。
募金の必要性に対する自分の考えを見つめ直します。



TOPIC 2：公平な経済活動とは？

生産者・企業・消費者の視点で 2030 年の世界をよりよくする経済活動を考えます。
チョコレートなどの身近な商品を題材に、公平な経済活動の仕組みを考えるアクティビティを体験します。



TOPIC 3：海洋プラスチックごみって何が問題なの？

海洋プラスチックごみ問題を解決するために、自分たちに何ができるかを考えます。
複数の資料を通して問題の所在や解決に向けた取り組みへの理解を深め、グループワークを通して広いものの見方を養います。



TOPIC 4：私たちにできる平和のための国際協力とは？

「戦争」が SDGs に与える影響について考えます。
カンボジアという実例を挙げて、社会問題と国際協力について学びます。



TOPIC 5：地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を作りますか？

TOPIC1 ～ 4 で学んだことを踏まえて絵本作りをします。
「誰に」「何を」伝えたいかをハッキリさせ、表現力を養い、行動者への変容を促します。



【TOPIC 1】 どうして募金って必要なの？

実施の目的：身近な募金活動の意味を問い直すことを通して、自分の日常の行動と世界のつながりを生徒が考えられるようにする。

生徒の目標：募金が必要な世界の現状を知り、自分にできることに取り組もうとすることができる。

第 1 時

事前の準備物：ワークシート①・②、校内募金活動の写真や動画

目安時間	内容
15 分	どうして募金って必要なの？ 【問い】 今までに募金をしたことはありますか？ どこで・いくら・どうして募金しましたか？ 募金活動を校内で行っている場合は、その時の写真や動画を見せながら振り返りましょう。 【問い】 どうして募金って必要なの？ <ワークシート①> ・ワークシートに自分の考えを書く。 ・自分の考えをグループや全体で共有する。 今までに募金をしたことがある人・ない人に関わらず、必要な理由について生徒の意見を共感的に受け止めていきましょう。
15 分	どんな時に募金する？ 【個人ワーク】 自分はどんな時に募金するかを考えよう <ワークシート①> ・ワークシートに書かれたそれぞれの事例を見て、自分だったら募金をするかどうか考え、○×を書く。 ・自分の考えをグループや全体で共有する。 「どうあるべきか」ではなく、自分の素直な考えを書かせるようにしましょう。 その選択をした理由にも目を向けさせましょう。
15 分	援助が必要な人ってどんな人？ 【問い】 援助が必要な人ってどんな人？ <ワークシート①> ・経済的な援助が必要な人と、そのような状況になったきっかけを考える。 ・問いに対する考えを全体で共有する。 (例) 地震や災害、戦争、食べ物がない、お金がない、仕事がない、障害をもっている、家がない、国籍がない (例) 「国籍がない」という生徒の発言に対して、「国籍がないのはどんな人たちかな？」「どうして国籍がなくなってしまったのかな？」などの問い返しをして、生徒の持っている情報を引き出しましょう。
5 分	【振り返り】 <ワークシート②> ・この時間の学習を通して学んだこと、疑問に思ったこと、心に残ったことを書く。 時間があれば、振り返りを共有することで学びが深まります。

<ワークシート①> ※その他の資料はDVD・ホームページをご覧ください※

どうして募金って必要なの？

○今の自分の考えを書いてみよう

○どんな時に自分だったら寄付や募金をするか考えよう。

事例	○・×
・駅前で、自分の知らない人が募金活動をしていた	
・学校で、募金活動をしていた	
・学校で、友達が募金活動をしていた	
・友達に「お金ちょうだい」と言われた	
・海外で、ストリートチルドレンの子どもに「お金ちょうだい」と言われた	
・ホームレスの人に「お金がなくて困っています。少しでいいのでお金をください」と言われた	
・海外で、赤ちゃんを抱いているホームレスのお母さんに「この子にご飯を食べさせるお金がなくて困っているんです。助けてください。」と言われた	
・あなたが発展途上国でボランティアとして活動をしている村の村長から「あなたは私たちよりもお金持ちだ。だから、この村のためにお金を寄付してほしい。」と言われた	
(自分が募金をする場面を考えてみよう)	○
(自分が募金をする場面を考えてみよう)	○

○周囲からの経済的援助が必要な人はどのような人だろうか？

経済的援助が必要な人



上記のようになったきっかけ

第2時

事前の準備物：ワークシート②・③・④、資料 A ～ H

目安時間	内容
20 分	募金が必要な人たちはどのような課題を抱えているのだろう？ 【グループワーク①】 募金が必要な人たちの抱える課題を考えよう ・グループ毎に 1 事例を選び、課題を捉える。 <ワークシート③・資料 A ～ H> ・課題と SDGs の 17 の目標との関連を線でつなぐ。 ・グループ毎に選んだ資料の動画を視聴する。 ※ワークシート記入例を参考にしてください。 課題を多面的・多角的に捉えるためのツールとして SDGs を活用しましょう。 生徒自身に事例を見つけさせてもよいかもしれません。 ※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※ 資料 A 生き残った「命」をつなぐ ～ギル君のストーリー～ 毎朝、目を覚ますと、まきを拾いに出かけます。そして、水汲みも大切な仕事のひとつです。 朝ごはんは、ありません。 1 日 1 回の食事では栄養が足りず、体調を崩しがちです。 今日も、咳が止まりません。 お父さんは、1994 年に起きたルワンダの大虐殺を生き延びました。家族を殺され、自分も怪我を負い、今も後遺症に苦しんでいます。それでも、僕たちのために小さな畑を耕し、懸命に働いています。 「ギルには、希望を持って生きる力を身につけてほしい。」 お父さんはそう願って、僕を学校に通わせてってくれています。 お腹がすいたまま勉強をするのは楽じゃないけど、僕は、クラスでは 1 番です。 上の学校に進んで、仕事をみつけて、小さい兄弟たちを助けたいと願っています。 僕はギル。9 歳。 大きくなったら、お医者さんになりたいです。  動画は下記 QR コードから  【提供】国際 NGO ワールド・ビジョン

目安時間	内容
10分	募金が必要な人たちのありうる未来 【グループワーク②】 ありうる未来を考えよう <ワークシート④・資料 A～H> グループワーク①で選んだ子どもが、一切支援を得られなかった場合、5年後・10年後・30年後どのような未来が想定されるか考える。 (ワークシート④左半分) 援助が受けられないことで、自分の子どもも同じ状況になるという負の連鎖から抜け出せないことに気付かせましょう。
15分	どんな支援が必要だろうか？ 【グループワーク③】 どんな支援が必要か考えよう <ワークシート④・資料 A～H> - グループワーク①で選んだ子どもが、どのような支援が必要かを考える。 - 支援を得られることで、どのような未来が想定されるか考える。 (ワークシート④右半分) <気付かせたいこと> - 支援が得られることで未来が変わるということ - 貧困から脱出するためには一時的な援助だけでは十分ではないこと - 募金で全ての課題を解決できるわけではないこと
5分	募金で何ができるのだろうか？ 【問い・ふり返し】 募金で何ができるのだろうか？ <ワークシート②> - この時間の学習を通して学んだこと、疑問に思ったこと、心に残ったことを書く。 - グループ内でふり返しを共有する。

ワークシート③



資料 D



第3時

事前の準備物：ワークシート②・③・④、資料A～H

ワークシート② 募金が必要な人たちの現状を知る		
どの資料に登場する人物が5年後・10年後・30年後の未来を考えよう		
何も支援を受けられない	現在	必要となる支援を想像し、それを表にしよう (どのようなる支援が必要か書きましょう)
	5年後	
	10年後	
	30年後	

目安時間	内容
10分	募金が必要な世界の現実 【知る】募金が必要な世界の現実を知る ・前時で取り上げた事例に登場する子どもたちの映像を見る。 映像を見て感じたことを伝え合いましょう。
20分	募金が必要な人たちの現実 【発表】募金が必要な人たちの現実を知ろう <ワークシート③・④、資料A～H> ・前時のグループワーク①～③で考えたことを発表し合い、募金が必要な人たちの現実を知る。 ・全体の前でグループ毎に発表 ・代表者だけグループのテーブルに残り、他のメンバーが他の班の発表を聞きに行く ・など実態に合わせて発表方法を選び、考えを共有しましょう。
10分	なぜ「学校に行きたい」と子どもたちは言うのだろうか。 【問い】なぜ「学校に行きたい」と子どもたちは言うのだろうか。 ・資料A～Hのほとんどに当てはまる共通点である「学校に行きたい」という思いの意味を考える。 (友だちと会える、なりたい職業につけるなど)
10分	どうして募金って必要なの？ 【問い・ふり返り】どうして募金って必要なの？ <ワークシート②> ・3時間の学習をふり返り、募金が必要な理由を改めて書く。 ・学んだこと、疑問に思ったこと、心に残ったことを書く。 ・互いの感じたことを共有する。 3時間の学習での変容を生徒自身が気付けるようにしましょう。

【TOPIC2】 公平な経済活動とは？

実施の目的：身近な経済活動を通して、消費者としての行動変容を促す。

生徒の目標：①フェアトレードを通して、経済活動における生産者と消費者の関係について考えを深めることができる。

②企業のサステナビリティ活動を自身の日常生活に結び付けることができる。

③ 2030 年の公平な経済活動に責任ある消費者として参加することができる。

第 1 時

事前の準備物：ワークシート①、資料 1～3

目安時間	内容
5 分	チョコレートってどうやって作られるの…？ 【グループワーク】 何を作るための原料？ ・ 〈資料 1〉 4 枚の写真を見て、何を作るための原料なのかを想像する。 写真はダウンロードできます。
40 分	フェアトレードって何…？ 【知る】 チョコレートの価格の違い ・ フェアトレード商品と通常のチョコレートの値段の違いを考える。  実際の商品を見せるのが理想ですが、写真や値段の違いのみを提示することも可能です。 写真：ピープルツリー 板チョコ 1 枚 約 350 円 【グループワーク】 経済活動における生産者と消費者の関係は？ ・ 〈資料 2〉 チョコレートの生産に関わる様々な立場の現状が書かれたカードを配布して、不公平な経済活動のしくみについて意見を共有する。 ・ <u>5 人グループ</u>で一人一枚のカードを読み上げる。 (例) 弱い立場である生産者、消費者における意識の問題、企業の利益など ・ 〈資料 3〉 ピープルツリーの「フェアトレードの 10 の指針」を配布して、フェアトレードについてまとめる（資料を確認するだけでも OK です）。
5 分	私たち消費者にできることは何だろう…？ 【問い：グループワーク】 フェアトレードを普及させるためには？ (例) フェアトレードは、生産者・企業・消費者が協力することで成り立つ経済活動 →それぞれの立場を理解し、「公平さ」を基準に考えなければならない 【問い：グループワーク】 私たち消費者にできることは？ (例) 基本的にフェアトレード商品の値段は高くなるため、消費者の意識変容が大切

〈資料 1〉

※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※

写真提供：ピープルツリー ©Miki Alcalde

【チョコレート（カカオ豆）の生産地】

ピープルツリーのフェアトレードチョコに使用するカカオ豆を育てているのは、ボリビアの「エル・セイボ」。

エル・セイボは 1960 年代にボリビア北部のアルト・ベニ地方に移住した元鉱山労働者が、カカオ豆の栽培をスタートしたのがはじまりです。当初は首都ラ・パスまでの輸送手段がなく、買いつけにくる仲買人に言い値で買い叩かれる状態でした。自力で出荷できるように農家の人びとが共同でトラックを購入し、1977 年に組合を結成。カカオ豆で得た収益を組合員世帯や地域発展のために還元しています。今では 1,200 人を超える農家がメンバーです。



ひとつずつカカオの実を収穫するボリビアの農家さん



カカオポッドと呼ばれるカカオの実



発酵を終えたカカオ豆を自然乾燥させて



トラックで出荷する人たち

第2時

事前の準備物：ワークシート②、資料4

目安時間	内容
5分	企業の目的は何だろう…？ 【問い：個人ワーク】企業の役割とは？ (例) モノを売ること、利益を上げること 安くて質の良い商品売ること 社会に貢献することなど あまり深く考えずに、思いついたことでOKです。
35分	イオンのサステナビリティ活動 【グループワーク】イオンはどのように社会貢献しているの？ ・ 〈資料4〉 イオンの4つのサステナビリティ活動について書かれている資料を配布する。 ・ (移動) 同じ資料を持っている人同士でグループを作る(4人程度)。 ・ 同じ資料を持つグループでイオンのサステナビリティ活動の目的及び内容について情報を共有する。 ・ (移動) 元のグループに戻り、グループメンバーとそれぞれの活動について情報を共有する。 4人グループで、それぞれ異なる活動の資料になるように配布してください。
10分	責任ある企業・消費者とは…？ 【問い：個人ワーク】企業の役割とは？ (例) 利益を上げるだけでなく、社会貢献をすることも大切 時間があれば、全体で発表し、友達と意見を共有することで理解が深まります。 【問い：個人ワーク】消費者として意識することは？ (例) 社会貢献活動に力を入れているかどうか商品を選ぶ基準にする → 価格や機能性などで商品を選ぶだけでなく、企業の役割や社会貢献も考慮しなければならない

第3時

事前の準備物：ワークシート③

目安時間	内容
5分	経済活動における消費者・生産者・企業のつながりは…？ 【問い：個人ワーク】「The 2 Euro T-Shirt」の動画が伝えたいことは？ ・「The 2 Euro T-Shirt」の動画を見る。 ・動画が伝えたいことをまとめる。 ・消費者・生産者・企業のそれぞれの立場を考える。 消費者・生産者・企業の関係を想像できます。 動画では、英語の表記が多いため、Donate（寄付）など事前にヒントを与えてもOKです。  https://youtu.be/KfANs2y_frk
35分	2030年の世界をよりよくする経済活動を実現するために、何が必要だろう…？ 【グループワーク】消費者・生産者・企業のそれぞれの主張は？ ・消費者・生産者・企業の主張を読む。 ・優先順位を考え、ダイヤモンドランキングを作成する。 ・なぜそのような優先順位をつけたのか理由も考える。 ・全体で共有する場合は、全員が自由に各グループのダイヤモンドランキングを見て回る。 時間があれば、全体で各グループの優先順位を共有しましょう。
10分	2030年の世界をよりよくする経済活動を実現するために、何ができるだろう…？ 【問い：個人ワーク】「2030年の世界をよりよくする経済活動」のために、あなたは何かができますか？ ・今までの学習のまとめとして、自身の行動変容を促すようにする。

【TOPIC3】海洋プラスチックごみって何が問題なの？

実施の目的：海洋プラスチック問題と自分の生活の関わりを踏まえ、課題解決に向けて行動する姿勢を育てる。

生徒の目標：①海洋プラスチック問題を通して、自らの生活と社会課題との関係性を考えることができる。
②社会課題の解決に向けた取り組みを通して、課題解決と自分の行動の関係性を考えることができる。
③根拠を持って、社会課題の解決策を具体的に考えることができる。

第1時

事前の準備物：ワークシート①、資料（１）～（４）※資料は１人につき１資料配布する

目安時間	内容
10分	プラスチックについて知っていることを確認しよう！ 【個人ワーク１】【ペアワーク１】 プラスチックに関するクイズに取り組む ・ワークシートのクイズに取り組む ・隣の席同士で書き出した内容を共有し、発表する。
25分	海洋プラスチックごみ問題って何？ 【個人ワーク２】 海洋プラスチック問題を詳しく知る ・プラスチックごみに関する問題の中でも、海洋プラスチックごみの問題を取り上げることを知る。 教師が新聞記事やニュースを紹介すると、生徒は関心を持ちやすい。 ・〈資料（１）～（４）〉海洋プラスチック問題に関する資料を読み、考えたことやSDGsとの関係をワークシートに書きこむ。 【グループワーク１】 お互いの資料の内容や考えを共有する ・別の資料を持っている者同士で４人グループを作り、資料（１）～（４）の内容と考えたことを共有する。 ・共有した内容をワークシート①に書き込む。 時間に余裕があれば、発表の時間を取ってもよい。
15分	海洋プラスチック問題を解決するにはどうしたらいいだろう？ 【個人ワーク３】 プラスチックごみを海洋ごみにしないためにできることを考える ・自分にできる解決策をワークシート①に書き込む。 (例) プラスチック製品をなるべく使わないようにする。 【ペアワーク２】 お互いの考えを共有する ・【個人ワーク３】で考えたことを隣の席同士で共有する。 【振り返り】 今日の学びを整理しよう ・今日の授業を通して初めて知ったことや、考えたことをワークシートに書き込む。

※その他の資料はDVD・ホームページをご覧ください※

資料①（４）

私たちの身の回りには、今どのようなプラスチック製品があるだろうか。教室の中にあるプラスチック製品を挙げていってみよう。ビニール製のペンケース、ペンやシャープペンシル、ペットボトルとふたなど、少し考えただけでも沢山のプラスチック製品に囲まれている。

プラスチックは軽くて丈夫、そしてさびたり腐ったりすることがない。また、様々な形の製品を作ることができるし、自由に色を付けることもできる。そして、酸素や水分を通しにくいため衛生的でもある。これらの長所から、プラスチックは様々な製品に用いられている。

例えば弁当の容器、肉・魚を入れる発砲スチロール、ペットボトルなど、食品関連で使用されているものを沢山挙げるができる。また、液晶テレビやスマートフォンの中にもプラスチックの部品は用いられている。ここ数年で使用が増えた不織布マスクにも、プラスチックでできた繊維を使用しているものがある。

石油から作られるプラスチックは、自然界の微生物に分解されにくく、そのまま放置すると半永久的に残存してしまうといわれている。世界の海底にプラスチック製品が沈んでいることも報告されている。自然界で分解されないプラスチックは、紫外線、波風などの物理的な力によって細かく砕かれ、マイクロプラスチックとして世界の海を漂う存在となってしまう。

これらの海洋プラスチックごみ問題を解決するための方法の一つとして、プラスチック製品を別の素材に変更していく方法がある。例えば、食器や包装紙を紙製にしたり、ビニール袋の代わりに紙袋を有料で提供したりする取り組みだ。食品飲料企業のネスレ日本株式会社は、2019年9月より「キットカット」の大袋タイプ5品の外袋ほぼ全てを、従来のプラスチック包装から紙パッケージへと変更している。これにより、従来のプラスチック使用時と比べ年間約450tのプラスチック削減量を見込んでいる。また、スターバックスコーヒージャパンは、2021年の9月から、全てのフラペチーノをFSC認証紙ストローに変更する。これにより、店内で提供する使い捨てストローの全てが紙ストローになるという。

この文章の内容を踏まえて、裏面の問いを考えよう。

Q1. プラスチックの長所を書き出そう。

Q2. 身の回りにあるプラスチック製品を沢山挙げよう。

Q3. プラスチック製品をなるべく使わないようにするには、どうしたらいいだろうか。具体策を考えよう。

第2時

事前の準備物：ワークシート②、資料（５）～（８）※資料は１人につき１資料配布する

目安時間	内容
10分	どんな取り組みが行われているだろう？ 【個人ワーク１】 海洋プラスチックごみ問題の解決策を予想しよう ・ 学校、会社（企業）、地域（自治体）、その他の中から１つを選ぶ。 ・ 選んだところが、海洋プラスチックごみ問題に対してどのような解決策に取り組んでいるかを推測し、ワークシートに書き込む。 【ペアワーク】 お互いの考えを共有する ・ 【個人ワーク１】で挙げた予想を隣の席同士で共有する。 相手の考えをワークシートに書き込むようにしましょう。
30分	どんな人たちが、どんな取り組みをしているのだろう？ 【個人ワーク２】 海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取り組みを知ろう ・ 〈資料（５）～（８）〉 海洋プラスチック問題を解決するために学校・企業・自治体などが取り組んでいることを紹介した資料を読み、内容を理解する。 ・ 資料の内容から考えたことや、SDGsのどのゴールに関わりがあるか、またそう考える理由をワークシートに書き込む。 資料（５）～（８）以外に、「社会課題解決中マップ」、「プラスチックスマート」などのホームページを活用して、生徒自身に取り組みを調べさせてもよい。 課題解決中マップ →  プラスチックスマート内 事例検索ページ→  【グループワーク】 お互いの資料の内容や考えを共有する ・ 同じ資料を持っている者同士で４人グループを作り、資料を読んで考えたことを共有する。 ・ 別の資料を持っている者同士で４人グループを作り、資料の内容と考えたことを説明し合う。
10分	海洋プラスチックごみ問題を解決するために、私達にできることは？ 【個人ワーク３】 海洋プラスチックごみ問題を解決するために、できることを考える ・ 資料の内容、意見交流を踏まえて、海洋プラスチック問題を解決するために自分にできる行動を考え、ワークシートに書き込む。 【振り返り】 今日の学びを整理しよう ・ 今日の授業を通して初めて知ったことや、考えたことをワークシートに書き込む。 【宿題】 身の回りで、海洋プラスチックごみ問題解決に向けた取り組みを探そう。

※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※

資料(5)

東京農工大学の取り組み

「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」(TUAT Plastic 5R Campus)

キャンパス内に、「マイボトル用浄水給水器」を設置し、大学内におけるペットボトル使用量の削減に取り組んでいる。



学内では、学生ボランティア隊が給水器の清掃を行ったり、利用促進のためのポスターを作成し掲示したりしている。左のポスターは小金井・府中キャンパスに掲示されているポスター。

大学生協にて、オリジナルマイボトルやマイバッグの販売を行っている。

この他、2020年4月から、会議等でペットボトル飲料の配布を禁止したり、学生ボランティア隊による活動を行ったりし、プラスチック使用量の削減に努めている。これらの取り組みの結果、大学内におけるプラスチック使用量が2018年から2019年にかけて2300kg削減された。
この他、構内の自動販売機からペットボトル飲料をゼロにしたり、マイクロプラスチックの研究や代替素材の研究を進めたりと、プラスチックに関する社会課題を解決する研究を行っている。
QRコードを読み込み、東京農工大学が行っている取り組みをチェックしてみよう!



農工大プラスチック削減5Rキャンパス
TUAT Plastic 5R Campus



「農工大プラスチック削減 5R
キャンパス」のホームページ

第3時

事前の準備物：ワークシート③

目安時間	内容
10分	自分にできること、みんなと一緒にできることを考えよう 【個人ワーク1】 今までの学びを踏まえ、解決策を考えよう。 ・家（自分個人）や学校で、海洋プラスチック問題解決のために何ができるか考える。 ・「自分一人にできること」「人と協力すればできること」は何か意識して考えるようにする。
35分	「〇年〇組 海プラ問題解決チャレンジプラン」を考えよう 【グループワーク1】 アイディアを出し合い、解決プランを計画しよう ・近くの席で4人グループを作り、【宿題】で調べたことと、【個人ワーク1】で考えたことを共有する。 ・自分たちのクラスで「きっと取り組める」解決策、「難しいけれど挑戦してみたい」解決策を考える。 ふせんが準備できれば、考えを書き出して似ている考えを分類する活動をしてよい。 ・プランの「タイトル」「取り組み内容」「SDGsのどのゴールに関係するか」「プランのキャッチフレーズ」をワークシートにまとめる。 【グループワーク2】 同級生の考えを知ろう。 ・【グループワーク1】とは別の4人で集まり、自分達の考えたプランを共有する。 ・互いのプランの良い点や興味を持った点を伝え合う。 自分たちのプランに関するコメントはなるべくワークシートに書き取らせる。
5分	【振り返り】 今日の学びを整理しよう ・今日の授業を通して初めて知ったことや、考えたことをワークシートに書き込む。

【TOPIC4】 私たちにできる平和のための国際協力とは？

実施の目的：戦争とSDGsの関係性を理解させ、平和を維持する価値と戦争後の国際協力の在り方について理解させる。

生徒の目標：①戦争とSDGsの関係性について仲間と共に考えを深めることができる。
②カンボジア内戦の例から、戦争と社会問題を結びつけて考えることができる。
③国際協力への自分の関わり方に関して提案することができる。

第1時

事前の準備物：ワークシート、資料1・2（グループで1枚）

時間に余裕があれば、教室全体で共有しましょう

目安時間	内容
10分	「戦争」って何…？ グループは3人を想定 【グループワーク1】「戦争」という言葉から何をイメージしますか？ ・〈ワークシート〉「戦争」からイメージするものをグループ内で共有する
35分	「戦争」はSDGsにどう影響する…？ 【グループワーク2】「戦争」はSDGsの各目標にどう影響する？ ・〈資料1〉SDGs各目標をハサミで切り離す。 ・〈資料2〉「戦争」がSDGs17の各目標に与える影響、各目標同士が与えあう影響についてグループで考え、矢印を記入しマインドマップを作成する。 拡大印刷や模造紙を活用しても構いません！ 【グループワーク3】SDGsのどの目標の課題を解決すればよいだろう？ ・作成したマインドマップを見て、社会を良くするためには、SDGsのどの目標の達成に取り組む必要があるかをグループで話しあう。 ・選んだ目標に○をつける。 【グループワーク4】考えを共有する ・【グループワーク2・3】の内容を全体に共有する。 気になる意見はメモ欄にメモ！ 
5分	「戦争」が終われば解決するの…？ 【知る】「戦争」後の社会 ・マインドマップの中心にある「戦争」に×を書かせる。 ・「戦争が終わったらマインドマップに書いた問題は解決するの？」と問いかけ、グループで話し合わせる。 ・「戦争」そのものが終わっても、「戦争」を契機に社会に生じた問題や関係性が消えるわけではなく、「戦争」後の社会にも大きな影響を与える事を理解させる。 ・本時の学びや気づきをメモ欄に書かせる。 時間に余裕があれば、教室全体で共有しましょう 時間に余裕があれば、ペアやグループで共有しよう！

第2時

事前の準備物：ワークシート、資料A～C

目安時間	内容
10分	カンボジアとカンボジア内戦って…？ 【知る】カンボジアとカンボジア内戦について ・〈ワークシート〉を読んで、カンボジアとカンボジア内戦について理解する。 大事だと思うところに線を引かせましょう。
35分	カンボジアの社会問題と内戦の関係は…？ 【グループワーク1】カンボジアの社会問題とは？ ・グループで話し合っってカンボジアに関するQ1～Q6のクイズの答えを考える。 各グループの答えを共有してもよいでしょう。 【個人ワーク1】カンボジア内戦と社会問題の関係は？ ・〈資料A～C〉各グループで3種類の資料を個人で読み解く。 大事だと思うところに線を引かせましょう。 【グループワーク2】考えを共有する ・【個人ワーク1】の内容をグループ内で共有する。 全体でQ1～Q6の答えを確認してもよし
5分	解決には何が出来る…？ 【ワーク4：グループ】社会問題の解決策を考える ・Q1～Q6の社会問題を解決するアイデアをグループで考える。 例：児童労働をさせた親に罰金、女性の進学希望者には国から助成金など 時間に余裕があれば、教室全体で共有しよう。

参考資料

日本とカンボジア社会問題比較

1. 成人識字率（2015）

カンボジア…78% 日本…99%

2. 児童労働（2010～2018）

カンボジア…13% 日本…データなし

3. 乳児死亡率（2018）※ 1000人中

カンボジア…24人 日本…2人

4. 最低限の基礎的飲用水サービスを利用する人の割合（2017）

カンボジア 農村…73% 都市…97%

日本 99% ※農村と都市の区別なし

5. 後期中等教育（日本の高校）修了率（2010～2017）

カンボジア 女性 29%（男性 47%）

日本 女性 79%（男性 82%）

6. 国会議員における女性の割合（2020）

カンボジア 21.6% 日本 9.9%

1…UNESCO UIS より

2～5…ユニセフ「世界子ども白書 2019」より

6…列国議会同盟「報告書 2020」より

カンボジアは 2000～2009 年は 45%だったので劇的に改善！

カンボジア 105 位
日本 166 位

資料2-A ※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※

A 教育

内戦下では、学校教育自体が廃止され、学校の校舎は破壊されるか、軍の基地や刑務所などとして使用されました。カンボジアの書物も大半が内戦で失われました。いまでも成人の22%の人は読み書きができません。

近年急速にカンボジアの人口は増加していますが、子どもが教育を受ける校舎はまだまだ足りません。教室数が不足している学校では、午前に勉強をする子どもたちと午後に勉強をする子どもたちにわけた2部制をとっていますが、それでも追いつかないところは3部制をとり対応しています。そのため、児童一人当たりの授業時間は短くなっています。また内戦でほとんどの教員が亡くなってしまったため、正規のトレーニングを受けずに村長が選んだ村人が教員になりました。そのため、教育に関する深い知識や技術を持った現場の教員の育成も必要となっています。

内戦終結後も、経済的理由から学校を辞めざるを得なかった人も多く、児童労働をしている子どもの割合は、いまだに13%にものぼります。実は2000年から2009年の間は45%もいたので、状況は大きく改善されていますが、まだまだ貧しい子どもたちほど十分に教育を受ける機会がありません。満足な教育を受けることが出来なかった人々の中には、職業選択の機会を失い、貧困から抜け出せない人が沢山います。



第3時

事前の準備物：ワークシート、資料A～C

目安時間	内容
5分	カンボジア内戦と社会問題って…？ 【復習：グループ】カンボジア内戦と社会問題について ・ 前回のワークシートをもとにどんな社会問題があったかグループで復習する。 時間に余裕があれば、教室全体で共有しよう
35分	カンボジアでの国際協力活動とは…？ 【ワーク1：個人】今カンボジアで行われている国際協力活動とは？ ・ 〈資料A～C〉各グループで3種類の資料を個人で読み解く。 大事だと思うところに線を引かせましょう。 【ワーク2：グループ】資料の内容を共有する ・ 【ワーク1】の内容をグループ内で共有する。 特に心に残ったことを言えればよい。 【ワーク3：グループ】マインドマップの見直し&国際協力活動について ・ 第一時で作成したマインドマップを見直し、社会を良くするためには、SDGsのどの目標の達成に取り組む必要があるかをグループで話しあう。 ・ 再度選んだ目標に赤ペンで○をつける。 ・ 国際協力活動を行う上で、大切だと思うことをグループで話し合う
5分	解決には何ができる…？ 【ワーク4：グループ】考えの変化の共有 ・ ①【ワーク3】で選んだ目標②授業を通じた考えの変化や気づき③国際協力活動を行う上で、大切だと思うことを共有する。

参考資料

学校ですぐに活用できる「SALASUSU」の「LEARNING JOURNEY」

NPO法人「SALASUSU」では、中高生向けのスタディツアーを起点とした学習プログラム「LEARNING JOURNEY」を提供しています。「①オンライン型」と「②現地渡航型」があり、カンボジアの工房の様子を見学したり、働く女性に話を聞いたりすることもできます。

リクエスト（目的・学校種・学年・教科・期間）に応じて学びをデザインしてくれるので、気になる先生は以下のリンクから、サイトをご覧ください。各種ワークショップで使う教材も公開しています。



学習プログラム「LEARNING JOURNEY」



オリジナル教材「RESOURCE」



【TOPIC5】 地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を作りますか？

実施の目的：今まで学んだ（TOPIC1～4）の内容について「誰に」「何を」メッセージとして伝えたいかを考え、それを絵本にすることによって表現し、生徒がジブンゴト化できることを目標とし、それがアクションにつながることを期待する。

生徒の目標：①今まで学んだ TOPIC1～4 について自分なりの考えを深める。
②あなたの想いを誰に伝えるのか。どう伝えるのかを絵本作りを通して工夫する。
③友達と一緒に絵本を作ることを通して、相手の受け取り方や想い、協力すること、それによって1つの作品を作る過程を共有する。

第1時

事前の準備物：ワークシート①、自宅にある絵本、B4のコピー用紙17枚×生徒数、製本テープ

目安時間	内容
10分	好きな絵本をグループのみんなに紹介しよう！ 【グループワーク】好きな絵本をグループのみんなに紹介しよう！ ・4～6人程度のグループを作ります ※授業者も絵本を持ってくることが好ましい 自宅にない人は、図書室で借りても良い。 大きなリアクションをすると場が和みます。「拍手」を必ず！
30分	取り組んだ（4つの）「問い」から何を感じましたか？ 【問い】あなたの持ってきた（調べてきた）絵本は誰に何を伝えたいのだと思いますか？（5分程度） ・1に記入 思ったこと、感じたことを率直に！ 【グループワーク】まとめた内容をグループで発表！（5分程度） ・友達の発表を書き込みます 【問い】事前に取り組んだ（4つの）「問い」から、あなたは「誰に」「何を」伝えたいですか？（5分程度） ・2に記入 4つ「問い」の中から特に印象に残ったものから選んでも良い。 【グループワーク】グループで発表！（5分程度） ・友達の発表を書き込みます 選んだ「問い」の大グループを作ってから小グループへ 【仲間探し】同じ「問い」の仲間を探そう（10分程度） ・選んだ（4つの）「問い」のグループを作り、さらに小グループへと促す ・2～4人程度のグループを作るように促す なるべく生徒同士で決めさせましょう。
10分	【問い】地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を作りますか？ ※この「問い」の自分なりの答えを記入します 授業者は「誰に」「何を」と聞きながら机間巡視をしましょう。

※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※

絵本作成 Project ワークシート①（あなたはどんな絵本を作りたいですか？）

1. あなたの持ってきた（調べてきた）絵本は誰に何を伝えたいのだと思いますか？

a. あなたの考えたことを記入してください。（個人ワーク：5分程度）

b. 友達の発表を書き込もう！気づいたこともね！（個人ワーク：5分程度）

2. 事前に学んだ4つの「問い」から

a. 4つの「問い」のうち、あなたが一番心に残った「問い」とその理由を記入してください。（個人ワーク：5分程度）

・心に残った「問い」：

その理由：

.....

b. 上記の「問い」からあなたは「誰に」「何を」伝えたいと思いましたか？その理由も含めて記入をしてください。

・誰に… ..

その理由：

・何を… ..

その理由：

☆ここに記入したことをもとにして仲間を探します！

3. 地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を創りますか？あなたの考える絵本の構想を絵や文で書いてみましょう！

※できるだけいっぱい書きましょう！また、整理しなくていいです。考えたこと、思ったことをとにかくいっぱい書きましょう！

4. 今日の授業の振り返り

第2時

事前の準備：ワークシート②を人数分（横書き・縦書き）とグループの数分

目安時間	内容
5分	絵本の下書き（ラフ）を書くために必要なことは何だろう？ 【今日のワークの説明】 ・絵本の下書きを作る ・一気に最後まで書くことを心がけること ・文字だけでも OK ・あなたの作る絵本で「行動に移してもらいたい」こと「知ってもらいたい」ことを楽しんでもらえるように作ることを心がけること まずは書くことが大事！とにかく、「思ったこと」「感じたこと」を書くように促してください！ ☆【試し読み】絵本のラフ画を見て下さい！絵本作家になるには モーリーのラフ画下書き『きみがブーツをならすとき』 (https://youtu.be/tbDLB8AwvRc) 1 (https://youtu.be/99XZcW5gTiA) 2  
35分	絵本の下書き（ラフ）を一気に書こう！ 【個人ワーク】 ・下書き（ラフ）を書く（25分程度） - 縦書き・横書きで書き始めが違います とにかくまずは「一気に書く」ことを伝えてください 【グループワーク】 ・下書き（個人ワークで書いたもの）を読み聞かせ（5分程度） ※授業者は<u>良い部分を相手に伝える</u>ように声をかけを 【グループワーク】グループごとにワークシート②を配布 ・グループで1つにする（5分程度） ※授業者は「1つを選ぶだけでなく、お互いの良いところを組み合わせたものでもいい」ことを伝える。活発な議論になるように声をかけを 必ず「理由を言う」ことを心掛けるよう伝えてください。
10分	【発表】それぞれのグループの取り組みを発表！ 絵本の内容、工夫、伝えたいことなど、途中経過を発表させてください。 授業者が良い部分をその都度、講評してあげてください。また、聞いている生徒にも、発表したグループの良かったところ伝えてあげるように声をかけてあげてください。

※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※

絵本作成 Project ワークシート②（絵本の構成を練ろう！）横書き

裏表紙 タイトル						
1P		2P	3P	4P	5P	
6P		7P	8P	9P	10P	11P
12P		13P	14P	15P	16P	17P
18P		19P	20P	21P	22P	23P
24P		25P	26P	27P	28P	29P
		奥付				
30P		31P	32P	裏表紙		

☆24 ページか 32 ページで下書き（ラフ）を描いてみましょう！

第3時

事前の準備：ワークシート③

目安時間	内容
5 分	絵本をさらに良いものにしていくためには？ 【今日のワークの説明】 見直すポイントは？ ・文字の位置をページごとに変えてみよう ・長いと読み疲れてしまう ・絵がボンボン変わると楽しい ・めくりを意識する（ページをめくるアクションで楽しさを） ・クスッと相手が笑えば、反応は本物 今日の話し合うポイントになります。 黒板に書いてください！
35 分	伝えたいことを受け取ってもらえる絵本にするためには？ 【問い】 地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を作りますか？ 【グループワーク】 ・グループで構成を見直す（25 分程度） ※授業者は机間巡視をし、停滞しているグループにはストーリーを聞いてあげて、質問をする。 アドバイスにならないように、自分たちで考えが広がる疑問・質問を伝える 「誰に」「何を」伝えたいのかをもう一度思い出させてあげてください。 【グループワーク】 ・キャラクターを考える（10 分程度） ワークシート③に書いていく グループワークが停滞していたら、下記の内容を伝える ・身近なものに近づけていく ・感情移入しやすいもの ・キャラクターは人とは限らない 黒板に書いてあげてください！ (https://note.com/ekakinonakagawa/n/n3f0722862164)  一冊の絵本ができるまで / 中川貴雄note 一冊の絵本ができるまで / 中川貴雄note
10 分	【発表】 各グループからキャラクターと展開の発表！ ・他のグループの良かったところと今日の振り返りを書く ・他のグループから感想をもらう 

必ず、他のグループから一人、感想をもらってください。グループの人数に差があると思いますが、全員が何かしらの感想を言うことができるようにグループ内で発表する順番を決めておくといいでしょう！

第4時

事前の準備：ワークシート④

目安時間	内容
5分	絵本のタイトルを考えるためには？ 【今日のワークの説明】 ・タイトルは内容と同じくらい大切 ・タイトルに「前人未到」の言葉を使う？ ・タイトルには2つの言葉を組み合わせると良い？ 黒板に書いてあげてください！ ただし、これがすべてではないことを伝えてください。
40分	自分たちの絵本に興味を持ってもらえるタイトルとは？ 【個人ワーク】 ・タイトル 10 個を目標に（10 分程度） - とにかく、多く作ることを心掛けるように 考えすぎず、とにかくフィーリングで。思いついたら即書くことを促してください。 【グループワーク】 ・考えたタイトルを発表して <u>いくつか</u> に絞る（10 分程度） 1 つに絞らなくていいことを伝える（複数が大事！） - タイトルに想いも込めて！ 必ず「選んだ理由を言う」ことを心掛けさせてください。 【グループ間交流】 ・他のグループにどのタイトルがいいか聞いて回る（10 分程度） - 選ぶだけでなく、意見やアドバイス・感想も言ってあげるように促す - 選択肢を作ると選びやすくなる 「どれがいい？」と聞いた方が選びやすい。 ☆グループ間交流の方法について ・各グループで代表者一人を決めます。 ・その代表者がグループに残り、タイトルの説明をします。 ・代表者以外のメンバーは、順番に他のグループを回り、タイトルを選んであげてください。 授業者は2分計り、時間が来たら時計回りに他のグループのところに移動するルールにするとスムーズにすべて回れます。 【グループワーク】 ・タイトルを決める（10 分程度） 1 つに絞るだけでなく、アドバイスも活用し、よりよく変えていくことを促す ☆グループ間交流時の代表者が、どのタイトルの票が多かったかを理由とともに他のメンバーに伝える。 ☆グループ間交流の代表以外は、他のグループのタイトルの工夫や良いところをそれぞれが代表者に伝える。
5分	【発表】各グループの絵本のタイトルを発表！ タイトルに込めた想いや理由も言うように促してください。

第5時

事前の準備：1 グループに、17 枚のコピー用紙（できれば少し厚いもの）を準備 → 藁半紙でも

※バナナペーパー推進協議会と打ち合わせて、エシカルな絵本キットも考えていきたい

製本テープ、のり、念のために色鉛筆・クレヨン・絵の具などがあれば準備を

目安時間	内容
5 分	絵本を作ろう！ 【事前に生徒に伝えること】色鉛筆・クレヨン・絵の具・のりを持ってくるように 【今日のワークの説明】 楽しく作ることを意識させたい。 ・絵本を完成させよう ・みんなで協力しよう ・役割分担を決めることも大事 【絵本作りで意識してもらいたいこと】 黒板に書いてあげてください！ ・「誰に」「何を」伝えたいのかを意識して作ろう ・文字の位置をページごとに変えてみよう ・長いと読み疲れてしまう ・絵がポンポン変わると楽しい ・めくりを意識する（ページをめくるアクションで楽しさを） ・クスッと相手が笑えば、反応は本物
40 分	地球に生きる私たちの今と未来のメッセージとして、 あなたは「誰に」「何を」伝える絵本を作りますか？ 【グループワーク】 ・改めて「問い」を確認する。 ・役割分担を促すなど、グループ全員で1つの作品を作る 自由につくること。 楽しく作る雰囲気づくりを。 ※ページ番号も書くように！
5 分	【発表】各グループが「大変だったところ」「工夫したところ」を発表 苦戦しているグループがあった場合、みんなで解決策を考える 上手くいっていないことなどを正直に言うことを促してください。そして、みんなに解決策を考えさせる時間もつくり、クラスみんなで絵本を作る雰囲気を。 

第6時

事前の準備：ワークシート⑤

目安時間	内容
5分	絵本を発表しよう！（読み聞かせ発表会） 【準備】 ・発表会にあたり、司会を決めておくといい ・机を後ろに下げ、椅子を半円状にして読み聞かせの雰囲気づくりを ・できればゲスト（他の教員など）も招きたい 
35分	【発表会】 ・各グループの絵本の読み聞かせの後、時間をとって記入させる 
10分	【発表】 絵本作成で自己変容したところをそれぞれが発表 ・時間をとって記入させる ・今回の取り組みで自分自身が変わったことを自分なりの言葉で発表する 

クラス全体でそれぞれの想いを共有したい。

自分なりの言葉で良いことを伝え、率直な気持ちを表現させたい。